ジュニアガイド

100th Anniversary of the Tokyo Metropolitan Art Museum
東京都美術館開館100周年記念

高校生以下
無料

スウェーデン絵画

MASTERS OF SWEDISH PAINTING
from Nationalmuseum, Stockholm

北欧の光、日常のかがやき

2026 1.27 tue → 4.12 sun

NHK
東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM
100th Anniversary

1 スウェーデンはどんな国？

スウェーデンは、ヨーロッパの北の方にある国です。首都はストックホルムです。日本より少し大きく森や湖がたくさんあります。1,000万人くらいの人が、自然の近くでくらしています。スウェーデン語が話されています。英語を話す人もいます。

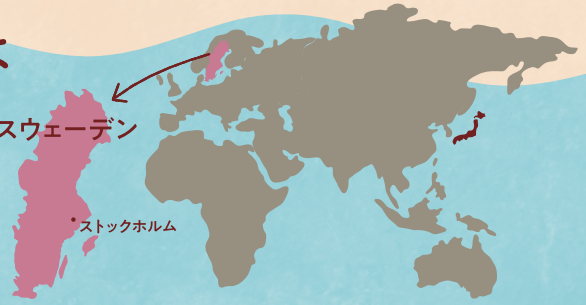


Photo: Yirui Aries/imagebank.sweden.se

2 スウェーデンをもっと知ろう

白夜と夏至祭

スウェーデンの夏は、夜でも空が明るい日があります。この時期は「白夜」とよばれています。いちばん昼が長い日には、「夏至祭」というおまつりがあり、花のかんむりをつけて、うたったりおどったりして楽しくおいわいします。中のページの絵ではスウェーデンの夏の夜が描かれています。

Photo: Anna Hållams/imagebank.sweden.se

フィーカ

スウェーデンでは、「フィーカ」といって、お茶やコーヒーを飲みながらひと休みする時間を大切にしています。おしゃべりをしたり、気持ちをすっきりさせたりする大切な時間です。あまいおかしも食べます。中のページの絵の中には、ティーカップをもっているこどももいます。さがしてみてください。

ダーラナホース

スウェーデンの木で作った小さな馬を「ダーラナホース」といいます。これは、「しあわせをよぶ馬」として、みんなに大切にされています。ダーラナというところでは、むかし、馬が木をはこぶのを手伝っていました。そのことから、木で馬のかざりを作るようになったといわれています。

3 スウェーデン絵画とは

1880年ごろから、スウェーデンの若い画家たちは、フランスで絵を学びました。そこで、自然や人のすがたを、目で見たままに描く方法を身につけました。その後スウェーデンに帰り、自分たちの国らしい絵を描こうと考えました。広くて美しい森や空、家族のくらしなど、身近な風景を絵に表しました。最近では、スウェーデンの絵画はフランスやアメリカでも紹介され、世界中の人に親しまれています。

アンデシュ・ソーン《故郷の調べ》1920年
油彩、カンヴァス
Photo: Viktor Fordell / Nationalmuseum

ニルス・ブロメール《草原の妖精たち》1850年
油彩、カンヴァス Photo: Cecilia Heisser / Nationalmuseum

グスタヴ・フィエースタード《冬の月明かり》1895年
油彩、カンヴァス Photo: Hans Thorwid / Nationalmuseum

4 スウェーデン国立美術館について

スウェーデン国立美術館は、とても長い歴史をもつ美術館です。1792年に、首都ストックホルムにつくられました。スウェーデンの王さまたちが集めた作品がもとになっています。絵画や彫刻、素描、版画、工芸、デザインなど、さまざまな作品がたくさんあります。建物のかべの絵は、スウェーデンの有名な画家カール・ラーションが描きました。中のページの絵を描いた人です。

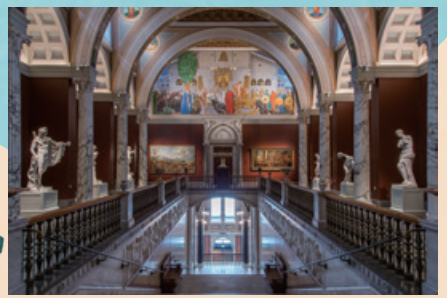


Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum

Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum

※作品は全てスウェーデン国立美術館所蔵です。

スウェーデン絵画の代表作をじっくり見てみよう

テーブルの上をじっくりみてみましょう。
左にはティーカップが並んでいます。
まん中には花瓶やフルーツがあります。
右側にあるのはお酒を飲むためのグラスでしょうか？

この絵は、この絵を描いた画家カール・ラーション（1853−1919）とその家族が住んでいた家のダイニングルームです。カール・ラーションは、画家でありお父さんでもありました。彼は妻のカーリンと一緒に家を改装し、家族のくらしを楽しく、居心地よくする工夫を絵に描きました。

カール・ラーション《カードゲームの支度》1901年 油彩、カンヴァス Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum

手前に見える大きなテーブルで、家族みんなが一緒に食事をしたと言われています。

この部屋に招待されたらどんな時間をすごせそうですか？

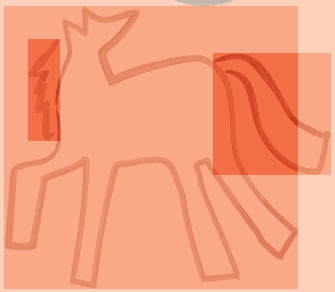
こども たちやお母さんがこちらをみてやさしくほほえんでいます。

ろうそくやランプが部屋をやさしく照らしています。

戸だなの赤とかべの緑、奥のドアとテーブルクロスの白。色がお互いに響き合ってみえます。

画家ニルス・クルーゲル（1858-1930）は、画家ファン・ゴッホの絵からヒントを得て、油絵の上にインクで小さな点や線を重ねる独特な描き方をしました。

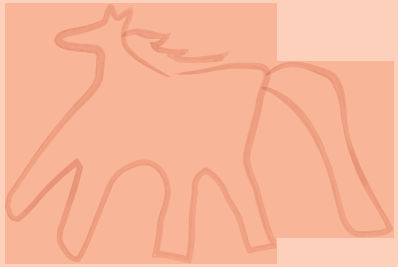
草原で馬が草を食べています。
馬のたてがみが風にふかれて、ふわりとなびいています。



スウェーデンでは、夏は夜になっても空が明るく、やわらかな光が広がります。タイトルは《夜の訪れ》。昼と夜がまざりあっているようにみえます。

ニルス・クルーゲル《夜の訪れ》1904年 油彩、カンヴァス Photo: Nationalmuseum

馬のうしろに光っているのは、月でしょうか？
空から地上にそそぐ光が、青白く短い線でたくさん描かれています。



この草原に立って深呼吸してみましょう。どんな気持ちになりそうでしょうか？

東京都美術館開館100周年記念
スウェーデン絵画　北欧の光、日常のかがやき

national museum

[会　期] 2026年1月27日(火)ー4月12日(日)
[休 室 日] 月曜日、2月24日(火)※ただし、2月23日(月･祝)は開室
[開室時間] 午前9時半～午後5時半、金曜日は午後8時まで(入室は閉室の30分前まで)
[会　場] 東京都美術館　企画展示室(東京都台東区上野公園8ー36)
| 公　式　サ　イ　ト | https://swedishpainting2026.jp
| 展覧会公式 SNS(X・Instagram) | @swedish2026
| お　問　い　合　わ　せ | 050-5541-8600(ハローダイヤル)

展覧会公式サイトはこちらから

主 催：東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、NHK、NHKプロモーション、東京新聞
協 賛：DNP大日本印刷
後 援：スウェーデン大使館　特別協力：スウェーデン国立美術館
協 力：全日本空輸、ルフトハンザ カーゴ AG　企画協力：S2
観覧料：一般 2,300円／大学生･専門学校生 1,300円／ 65歳以上 1,600円／ 18歳以下、高校生以下無料
※都内の小･中･高校生を引率する教員は事前の観覧料免除申請により観覧料無料となります。
※身体障害者手帳･愛の手帳･療育手帳･精神障害者保健福祉手帳･被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)は無料。
※18歳以下、高校生、大学生･専門学校生、65歳以上の方、各種お手帳をお持ちの方は、いずれも証明できるものをご提示ください。
※1月27日（火）-2月20日（金）までの平日のみ、大学・専門学校生は無料。

美術館の4つの約束
美術館にある作品は、みんなの大切な宝物です。

1. 走らずにゆっくり歩こう
2. メモを取るときは鉛筆を使おう
3. 作品やケースにはさわらずに目で楽しもう
4. お話する時は小さな声で

NHK番組情報

日曜美術館

[放送予定]
3月1日(日)午前9:00～
3月8日(日)午後8:00～(再)
E

趣味の園芸

「スウェーデンの草花&ガーデン(仮)」
4月5日(日)午前8:30～
4月10日(金)午後2:10～(再)
E

いつでも どこでも あなたのそばに
NHK ONE
番組の同時配信、見逃し･聴き逃し配信、
ニュースの記事や動画などの情報を
テレビ※やスマホ･タブレット、パソコンで
※インターネット接続に対応したテレビ

©NHK-dwarf

詳しい情報はこちらから
https://nhk.jp/nhkone

WEBサイト(HP)　アプリ

NHK ONE　NHK+ NHK ONE　NHK ONE ニュース防災　NHK ONE for School　NHK　NHK ゴガク

世帯ですでに受信契約を締結されている場合は、別途のご契約や追加のご負担は必要ありません(「らじる★らじる」など、ラジオ関連サービスは受信契約の対象外です)

©2025 Tokyo Metropolitan Art Museum, NHK, NHK Promotions Inc.
編集：NATSUHARA,LLC　デザイン：栗谷川舞（スタビーデザイン）

表紙：ニルス･ブロメール《草原の妖精たち》(部分) 1850年　油彩、カンヴァス
Photo: Cecilia Heisser/Nationalmuseum
作品はすべてスウェーデン国立美術館蔵